

石油開発のパイオニア

千蒲 善五郎

ちがま ぜんごろう

出身地 秋田市

1817年（文化14年）～1889年（明治22年）

上京して灯油用の採油を思い立つ。秋田市八橋に油井を掘り、千蒲製油所を設置。掘削から採油、精製、さらに灯油と石油ランプの販売を行う。中央資本と提携し大規模な石油開発を実行。秋田油田開発の父と称えられる。



年譜

- 1817年 秋田市に生まれる。幼名・倉吉。
- 1868年 戊辰戦争で官軍御取扱支配人となる。
東京で輸入ランプをみて灯油用の石油開発を決意。
- 1869年 八橋戌川原で石油の手掘り開始。
新潟石油事業を視察し、「蘭引き法」の製油所を設置。
- 1870年 八橋帰命寺境内に千蒲製油所を設置。
- 1872年 石油ランプと灯油の販売を開始。
長野石炭油会社支社と協同事業経営。
- 1886年 大阪鉱油と共同事業契約を結ぶ。
- 1889年 秋田市で没。72歳。